

しずおか Shizuoka Prefectural Newsletter

# 県民だより! 1月号

特集

- ・新春知事インタビュー
- ・中学生が語る未来



訪れてよし、しずおか

## 麗しく、誇り高く

### 富士山と駿河湾(焼津市)

本県には、日本の国土の象徴である世界文化遺産富士山や、世界で最も美しい湾クラブに加盟する駿河湾など世界に誇る地域資源や人材が数多くあります。

恵まれた世界クラスの魅力を活かしながら、世界から憧れられる美しい地域づくりを進めます。



クルマ：東名高速道路 焼津ICから約20分  
 バス：JR焼津駅からしずてつジャストラインバス  
 一色和田浜線和田浜まわり乗車約15分  
 「水天宮前」下車徒歩5分

☎ 焼津市観光協会  
 ☎054(626)6266 ㊚054(626)6267



インターネット版県民だよりのご案内

パソコンでは「しずおか県民だより」で検索  
(音声でも聞けます)

携帯電話

スマートフォン

県民だより2月号は、2月2日(日)にお届けします

※一部の地域は、2月5日(水)のお届けとなります

県の推計人口(令和元年12月1日現在)

総数3,637,998人(男1,793,918人、女1,844,080人)

ふじっぴーの

## 新年ごあいさつムービー公開中!

ふじっぴーが活躍する動画や、昭和の県政ニュース、  
県内の魅力ある風景など、静岡県の映像が盛りだくさん。  
ぜひ見てね!



ふじのくにネットテレビ

検索



# 世界クラスの資源・人材群 “ふじのくに” 静岡県

これまでに91の地域資源・人材が登録されています (令和元年は新たに9件が登録されました)

- 資源**
- 富士山 (平成25年) 世界文化遺産
- 伊豆半島 (平成30年) ユネスコ世界ジオパーク
- 南アルプス (平成26年) ユネスコエコパーク (生物圏保存地域)
- 静岡の茶草場農法 (平成25年) 世界農業遺産
- 小笠山総合運動公園エコパスタジアム ラグビーワールドカップ2019™(日本vアイルランド) (令和元年) 「シズオカ・ショック」



富士山

- など
- 人材**
- 本庶 佑さん (静岡県立大学) (平成30年) ノーベル生理学・医学賞 など
- 天野 浩さん (名古屋大学大学院教授) (浜松市出身) (平成26年) ノーベル物理学賞
- 伊藤 美誠さん (磐田市出身) (平成28年) リオデジャネイロ五輪(卓球) 女子団体：銅メダル(最年少メダリスト) など
- 飯塚 翔太さん (御前崎市出身) (平成28年) リオデジャネイロ五輪(陸上) 男子4×100mリレー：銀メダル など
- 吉野 彰さん (元:旭化成(株) 吉野研究室(富士市)) (令和元年) ノーベル化学賞 など



本庶佑さん



吉野彰さん

令和元年12月18日現在 ( )内は登録年

ながら地域防災力の向上に努めます。また、今後の超高齢社会においても、生涯を通じて健康で、安心して暮らせる医療・福祉の充実を図り、地域で医療を支える体制を整えます。

県民の健康と福祉の向上を図る「社会健康医学」の研究を推進し、人材を育成する「静岡社会健康医学大学院大学(仮称)」が令和3年4月に開学予定です。全国トップクラスの本県の健康寿命を延伸させ、科学的知見に基づく健康施策を推進し、県民総ぐるみの健康づくりを展開します。

本県独自の「バーチャルメディカルレッジ」(本庶佑学長)は、本県勤務を条件として医学修士修業資金の貸与を受けている医学学生などを対象とする。また、webを活用した情報発信などを通じて本県の地域医療の魅力を学ぶことができます。カレッジを修了して県内で勤務している若手医師はすでに460人を超えています。

昨年末に、県庁西館に「障害者アクト空間」が完成しました。いずれ西館

成功でした。スポーツでも文化でも「シズオカ」は今や世界の檜舞台に立っています。

本谷 今年には県内で東京2020オリンピック、パリオリンピック自転車競技が開催されるなど、ますます国内外の方々の交流が広がっていくことが期待されます。

知事 成功に向けて、万全の準備を進めています。県内では自転車競技3種目が開催されます。国内外からサイクリストの来訪が増えています。受入態勢を充実して、サイクリストのメッカを目指し、レガシーづくりを進めます。これを機に、誰もが人生を通じてスポーツに親しみ「生涯スポーツ」の環境づくりをしていきます。

オリンピック、パリオリンピックはスポーツと文化の両方の祭典です。市町や団体などと連携し、「文化プログラム」を各地で展開中です。オリパラ開催を契機に、本県を「スポーツ王国」にする。ともに、文化力を磨いて多彩な文化資源を内外に発信していきます。

知事 3年がかりのJRRの観光キャンペーン「静岡デザインেশンキャンペーン」が2年連続の成功を受け、今年のアフターキャンペーンでは観光資源のさらなる魅力向上と誘客に取り組めます。本県には空と海の玄関があります。富士山静岡空港は、昨年4月から民間主体の運営体制がスタートしました。海の玄関口の清水港には、今年中に山梨県からの中部横断自動車道が通じる予定です。山梨県の皆さまにとって、富士山静岡空港と清水港は「富士

の国」の奥座敷からの玄関口です。山梨県と一体利用を促進します。

駿河湾にはフェリーがあります。昨年6月から県と環駿河湾の6市町による新体制で運航を開始しましたが、苦戦中です。利用拡大に向けて知恵を絞っていますが、抜本的改革が必要です。交通網の充実とあわせて、「海と山の風景の画廊」と評される美しい県土全体を一つの広大な「ふじのくに回遊式庭園」と見立て、県下各地の風物を磨き上げながら、交流の拡大を促進します。

誰もが夢を叶えられる、未来を担う有徳の人づくり

本谷 本県にゆかりのある吉野彰氏がノーベル化学賞を受賞されるうれしいニュースもありました。知事は本県を、誰もが努力すれば夢を叶えることができる拠点にするとおっしゃっていますが、どのように取り組まれますか。

知事 吉野博士は、富士市で10年間研究に取り組みされました。富士山の世界遺産登録後、本県関係のノーベル賞受賞者は3人目です。学問以外でも世界クラスの活躍をされている人材が大勢います。

一番大切なのは「一人づくり」です。教育は、知性を高める学習とともに、技芸を磨く「実学」も重要です。そこで「実学」に軸足を移し、「才徳兼備」の人づくりを進めます。地域ぐるみ、社会総がかりで、子どもが持つ生まれた才能をいかんなく伸ばせる社会環境を整え、「One for All, All for Children, All for Every Child」のスローガンのもと、子どもの安全を見守りながら、健やかな成長を支えます。30歳前後までは、試行錯誤の修業時

- \*1 「Agri Open Innovation Practical and Applied Research Center」の略
- \*2 「Marine Open Innovation Practical and Applied Research Center」の略
- \*3 「Cha Open Innovation Practical and Applied Research Center」の略
- \*4 県東部を中心に産学官が協働して、医療からウエルネスまで世界レベルの研究開発を進めるとともに、県民の健康増進と健康関連産業の振興を図り、特色ある地域の発展を目指すプロジェクト
- \*5 県中部を中心に産学官が協働して、機能性食品など、付加価値の高い食品、化粧品などの化成品、加工機械の開発などを促進し、食品関連産業の振興と集積を目指すプロジェクト
- \*6 県西部を中心に産学官が協働して、あらゆる産業の基盤技術として重要な光・電子技術の活用を促進し、産業競争力を高めるプロジェクト
- \*7 植物繊維をナノオーダー(1mmの百万分の1)までに微細化することで得られる産業資源。植物由来のため環境負荷が少なく、リサイクル性に優れている。軽重、頑丈、湿度変化に伴う伸縮が少なく寸法が安定などの特徴があり、さまざまな産業分野における用途展開が期待されている



# 新春 知事 インタビュー 「美しい“ふじのくに”」 -世界の檜舞台に-

令和2年の幕開けに当たり、今年の県政のビジョンや抱負などについて、テレビ静岡アナウンサーの本谷育美さんが聞きました。



静岡県知事 川勝平太

## 世界に発信する “ふじのくに”の魅力

本谷 明けましておめでとございます。昨年は、ラグビーワールドカップ2019が開催され、大変な盛り上がりとなりました。また、日本平夢テラスの来館者年間100万人超えなど、国内外から多くの方が本県を訪ね、美しいふじのくにの魅力を感じてくれた一年となりました。

知事 ラグビーワールドカップ2019は、エコパスタジアムでの優勝候補アイルランドに対する日本の勝利は「シズオカ・ショック」として世界を駆け巡り、日本中が感動に湧きました。関係の皆さますべてに、心からの感謝をささげます。

日本平夢テラスは、駿河湾越しの富士山の絶景美と360度の眺望を楽しめます。当初、年間30万人の来館者を見込んでいたところ、1年でその4倍になり、この正月に130万人を超す勢いです。

SPAC(公財)静岡県舞台芸術センター)のニューヨーク公演も大反響の

## 豊かな暮らしの実現

を「障害者アート美術館」と呼ばれるまで充実したいと考えています。

本谷 富国有徳の「美しいふじのくに」づくりには文化力、人材力とともに経済力も必要です。豊かな暮らしの実現に向けた取り組みについてお聞かせください。

知事 本県は大きな潜在力「場の力」を持つています。まずは多彩な自然の恵みを大切に、これまでに培われてきた経験的な「匠」に、最新の科学技術の知見を入れ込んでいきます。先端農業推進拠点のAOIパーク(アオイパーク)はその先駆けです。MaOIIPARC(マオイパーク)はそれに続くもので、駿河湾の海洋資源の研究と開発、海洋プラスチックごみ問題などに取り組みます。また、老朽化した茶業研究センターは「茶の都しずおか」にふさわしいChaoIIPARC(チャオイパーク)に新します。従来のファルマ



テレビ静岡アナウンサー 本谷育美

## 静岡県の将来像

本谷 今後ますます、地方創生に向けた取り組みが求められます。改めて知事の考えるこれからの静岡県の将来像についてお聞かせください。

知事 静岡県はニューブランド並みの

## 安全・安心な地域へ

本谷 一方、昨年は台風による大きな風水害もありました。南海トラフ巨大地震をはじめ、災害への備えが求められています。また、超高齢社会を迎える中、医療・福祉への関心も高まっています。県民の安全・安心を守るためにどのように取り組まれますか。

知事 昨年9月の台風15号、10月の台風19号は、甚大な被害をもたらしました。危機管理は、最も重要な仕事です。被災者支援とともに、災害から教訓を引き出して、ハードソフトの両面から、生命と財産を守る体制を強化していきます。

特に大切なのは防災教育です。子どもたちを対象に、静岡県独自の「ふじのくにジュニア防災士」の資格取得を推進します。自分自身を守る、人を守るという点で、ジュニア防災士になることは、防犯意識の向上にもつながります。いざというとき、地域の防災力が問われます。顔の見える関係をつくり、地域住民が安心して暮らせるコミュニティづくりを支援します。各市町と連携し